

益田市地域公共交通会議議事録

会議名 令和2年度第2回益田市地域交通会議

開催日時 令和2年7月28日（月）13時30分から14時00分まで

開催場所 益田市役所3階 大会議室

1. 議題【市町村運営有償運送における更新登録について】

現在運行を行っている市町村運営有償運送の登録有効期間が平成29年10月1日～令和2年10月1日までとなっており、3年間の更新登録申請を行うため、交通会議での議題とした。

（1）益田市生活バス運行事業（人口拡大課）【別紙により説明】

運行路線、経路、運賃等の変更はないが、3台中2台の車両更新を行った。利用者数は年々減少傾向ではあるが、通学に利用している路線があることや、中山間地域の交通確保のためにも継続して運行を行いたい。

【質疑応答】

- ・どのくらい利用者数が減少したら路線が無くなったりするのか。（住民代表）
→利用者数が何人下回れば路線を廃止するという明確なものはない。しかし、今後利用者が極端に少ない路線をいつまでも継続していくことも難しいため、その際は、いきなり廃止するのではなく、路線の見直しについて地域と話し合いをしたと考えている。
- ・児童が利用する路線について、児童数が大幅に減少しているが、理由について把握していることはあるか。（交運労協）
→小学生の通学に利用しているため、利用していた小学生が中学生になったため、利用者の減少に繋がっているが、利用していた児童全体については把握していない。

議題（1）について・・・出席者全員の承認を受けた。

（2）匹見過疎バス代替運行事業（政策企画局匹見分室）【別紙により説明】

令和元年10月の消費税改定が行われたことに伴い、石見交通（株）の路線バス料金の変更が行われた。これに伴い、路線が重複する箇所については、路線バス料金と同額である。過疎バス利用者も減少傾向であるが、中山間地域の移動に必要な路線であるため継続して運行を行いたい。

【質疑応答】

- ・小原線沿線には車を所持しない高齢者が住んでいるが利用者がいない状況であるが、往路と復路の間の待ち時間が長いため、タクシーを利用している現実がある。しかし、中山間地域では、タクシー利用をすることはもちろんであるがタクシー事業者も大変な状況であり、今後さらに疲弊していくことが不安である。（住民代表）
→地域の資源を生かすため、過疎バス車両の使い方など、地域の方との話し合いを行っていきたい。
- ・利用増につながる工夫はあるか。（運輸支局）

→現在の過疎バスの実質利用者は8名であるが、そのほかの方に対する利用増につながる手立てはできていない。

議題（2）について・・・出席者全員の承認を受けた。

（3）匹見福祉バス運行事業（政策企画局匹見分室）【別紙により説明】

令和元年度に大幅に利用者が減少しているが、利用していた方が亡くなれことや、施設に入られたことが理由である。

【質疑応答】

- ・運行時間を変更したら利用が増えることは考えられないか。（旅客自動車協会）
→道川診療所の開所する火曜日と金曜日のそれぞれの時間に沿った運行としているため、時間を変更するが利用増にはつながらないとする。

議題（3）について・・・出席者全員の承認を受けた。

（4）美都外出支援サービス（福祉環境部美都分室）【別紙により説明】

運行ダイヤについては、特別養護老人ホーム美寿苑の送迎を併用するため、送迎時間外である10時～15時の間に運行を行っている。平成30年度は利用が0人であったが、令和元年度には利用が行われた。

【質疑応答】なし

議題（4）について・・・出席者全員の承認を受けた。

2. その他（報告事項）

第1回の交通会議にて承認を得た真砂地区での乗合タクシー実証事業であるが、運行事業者は「日本交通（株）」に決定した。今後、関係団体と運行実施に向けて進めていく。